

- 8月10日（木）に地方行脚として富山県を訪問（資源循環関係でハリタ金属を視察）。
- ぶら下がり会見にて、CE（サーキュラーエコノミー）に関して、総理から発言。

視察後のぶら下がり会見での総理発言

1. 関係者を官邸に招いた「サーキュラーエコノミーに関する車座対話」の実施
2. 9月に経済産業省・環境省を中心に「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」の立ち上げ



【参考】視察後のぶら下がり会見での総理発言全文

- そもう一つ、「サーキュラーエコノミー」について申し上げますが、循環経済、いわゆる「サーキュラーエコノミー」について、新幹線に使われるアルミを、高品質な部材にリサイクルして、再び新幹線に活用するこの先進的な取組や、若手女性社員が活躍する現場を視察させていただきました。
- 高い技術を活かした「地域に密着した資源循環の取組」は、まさに我が国が強みを持つ分野であり、地方活性化の観点からも、サーキュラーエコノミーの視点は重要であると感じました。
- 本日の現場視察を踏まえて、資源循環を地方活性化の起爆剤とすべく、関係者を官邸にお招きして、サーキュラーエコノミーに関する車座対話、これを今後実施したいと思っています。
- また、9月には、経産省・環境省を中心に「サーキュラーエコノミーに関する産官学のパートナーシップ」、これを立ち上げて、地方を中心とした取組をこれを加速させていきたい、このようにも感じています。